

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.42	行	33行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川			
府 県	大阪府	市町村	枚方市		地先	新町	

現状の課題
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
高規格堤防
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。
 また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。

位置図

具体的な整備内容

- ・高規格堤防
 現在、高規格堤防を整備中の新町地区は、完成を目指し、継続して実施する。

事業の数量・諸元等
 (病院建設と一体的に整備)
 延長 610m、面積6.0ha
 盛土 15万m³

・うち整備計画期間内の数量・諸元等
 盛土 7千m³

事業費

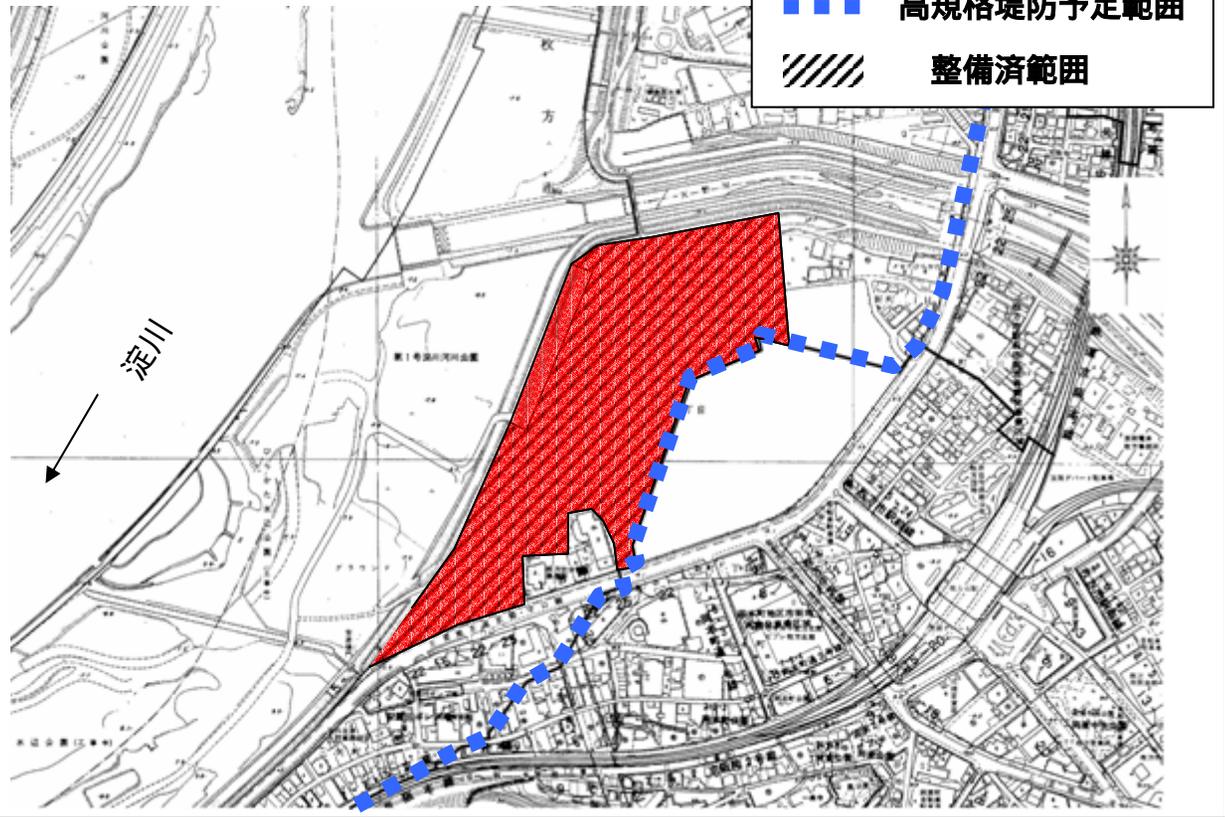
・全体事業費	約44億円
・うち執行済	約42億円
・うち整備計画期間内	約2億円
・うち整備計画期間以降	0円

スケジュール

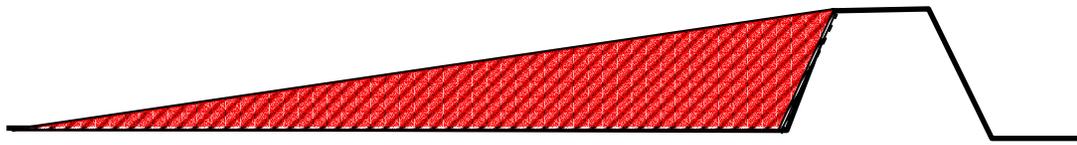
==== 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25

平面図



横断面図



写真



整備効果

- ・当地区を整備することにより、破堤による壊滅的な洪水被害(下表と下図は当地区で破堤した場合の被害予測)を回避する。
- ・高規格堤防と市街地との一体整備によって、これまで高い堤防で隔てられていた市街地と河川に連続性を持たせ、良好な水辺空間を創出する。
- ・総合病院と一体的に整備することで、水辺への眺望が開けた医療空間を創出する。

想定氾濫被害 (昭和28年台風13号型の2倍降雨)	
破堤地点	淀川左岸26.8k
被害額	1,000億円
浸水面積	30ha
被災人口	1,400人
浸水家屋	600戸

浸水想定区域図



提案理由

工場跡地を病院建設と一体的に高規格堤防化することについて、調整が図られたので継続して実施する。またこれと併せて淀川河川事務所庁舎敷地の高規格堤防整備を実施する。

調整経緯

- 平成元年度 地権者、枚方市と調整を開始する。
- 平成5年度 工場跡地利用を高規格堤防を前提とすることについて枚方市の了解を得る。
- 平成7年度 淀川工事事務所構内部分について事業着手。
- 平成10年度 病院建設計画との調整を開始する。
- 平成11年度 地権者と基本協定を締結する。工場跡地部分の事業着手。
- 平成15年度 全体事業完了(予定)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.42	行	33行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川			
府 県	大阪府	市町村	島本町	地先	江川		

現状の課題
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
高規格堤防
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。
 また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。

位置図

具体的な整備内容

- ・高規格堤防
 現在、高規格堤防を整備中の江川地区は、完成を目指し、継続して実施する。

事業の数量・諸元等

地区：延長600m、面積9.0ha
 (民間工場建替と一体的に整備)
 盛土 32万m³

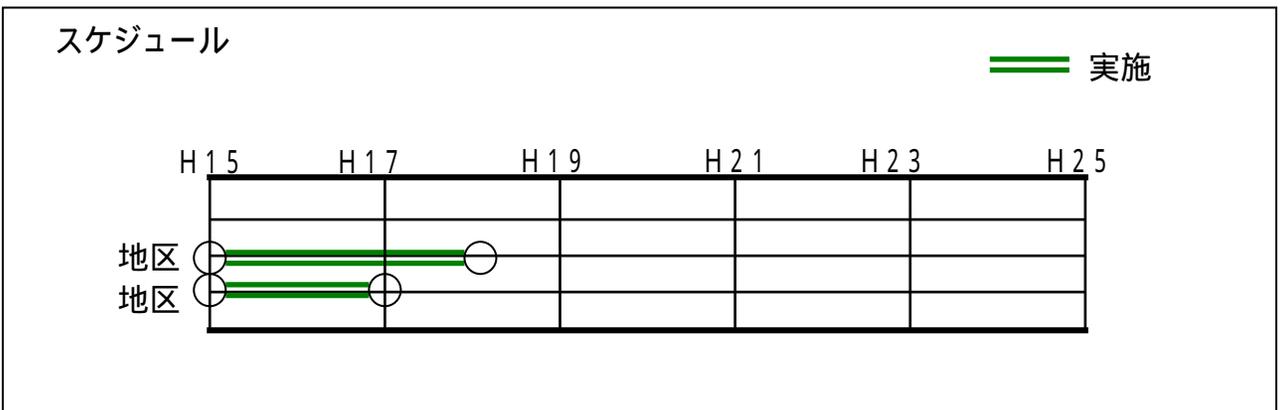
地区：延長50m、面積0.5ha
 (区画整理事業と一体的に整備)
 盛土 2万m³

・うち整備計画期間内の数量・諸元等

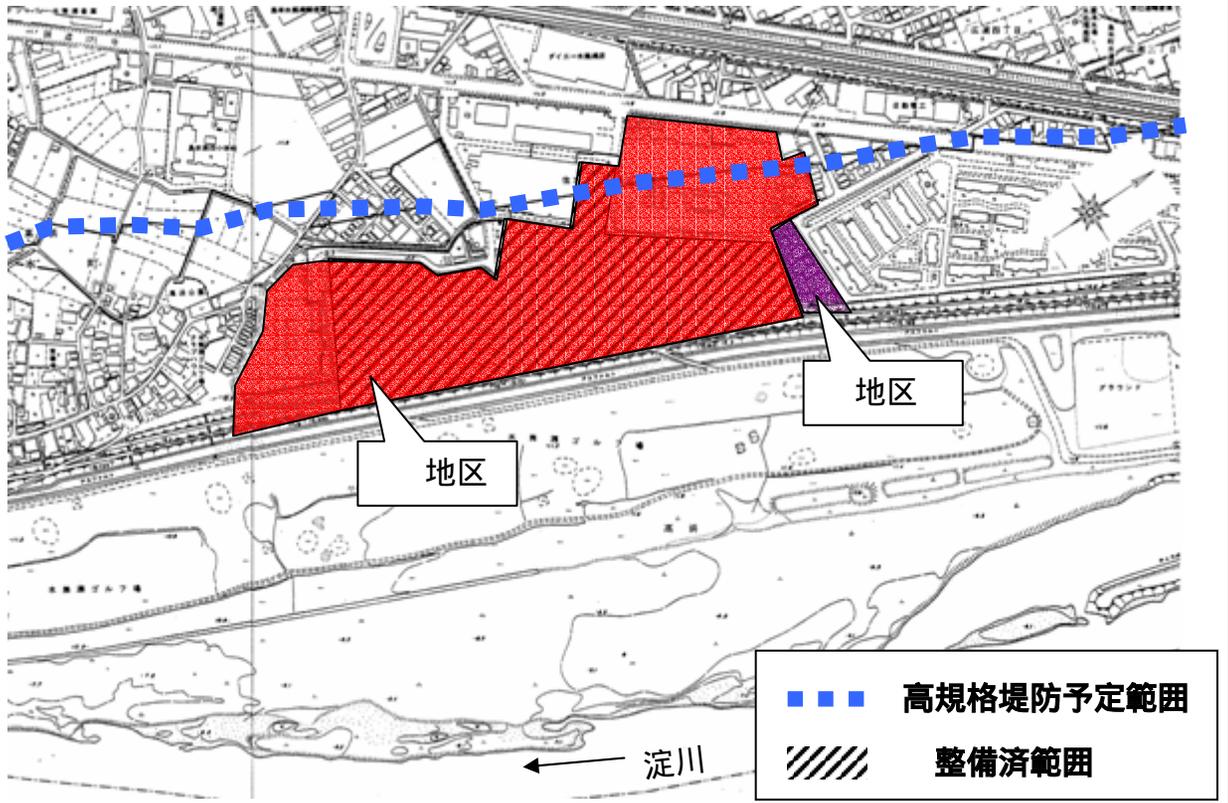
地区：盛土 11万m³
 地区：盛土 2万m³

事業費

- ・全体事業費 約174億円
- ・うち執行済 約140億円
- ・うち整備計画期間内 約34億円
- ・うち整備計画期間以降 0円



平面図



横断面図



提案理由**江川 地区**

工場の建て替え計画があり、それに合わせて高規格堤防を一体的に整備することについて調整が図られたので、継続して実施する。

江川 地区

土地区画整理事業と共同して高規格堤防を整備することについて調整が図られたので、継続して実施する。

調整経緯**江川 地区**

平成4年度 地権者、地元と調整を開始する。

平成5年度 高規格堤防整備と一体となった整備について地権者と合意し、協定を締結する。

平成6年度 事業に着手する。

平成15年度 事業中

江川 地区

平成11年度 地権者との調整を開始する。

平成12年度 土地区画整理事業と高規格堤防整備事業との共同事業による整備を進めることについて地権者の合意を得る。

平成15年度 区画整理組合設立について全地権者が同意する。事業着手予定。

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.42	行	33行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川			
府 県	大阪府	市町村	枚方市		地先	牧野北町	

現状の課題
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
 高規格堤防
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。
 また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。

位置図

具体的な整備内容

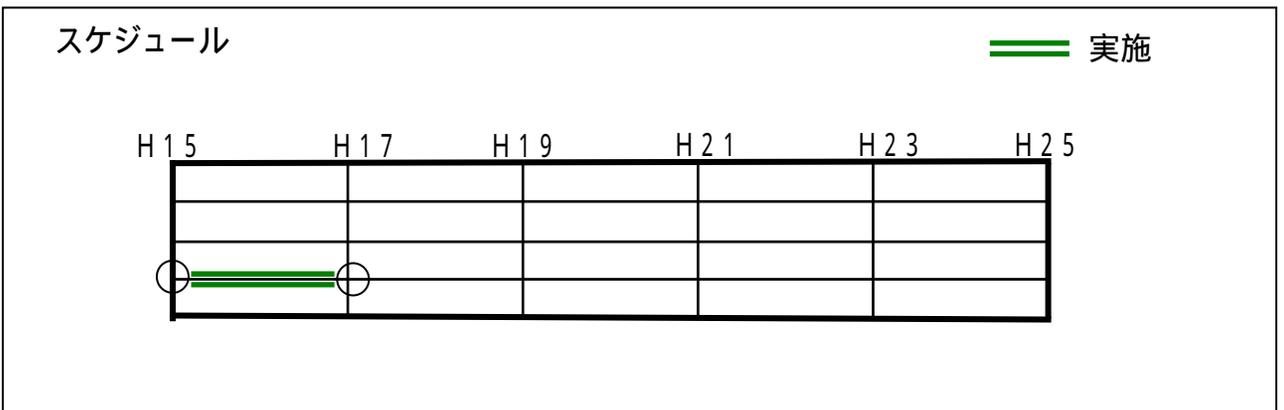
- ・高規格堤防
 現在、高規格堤防を整備中の牧野北地区は、完成を目指し、継続して実施する。

事業の数量・諸元等
 (小学校跡地整備と一体となった整備)
 延長 240m、面積 2.3ha
 盛土 8万m³

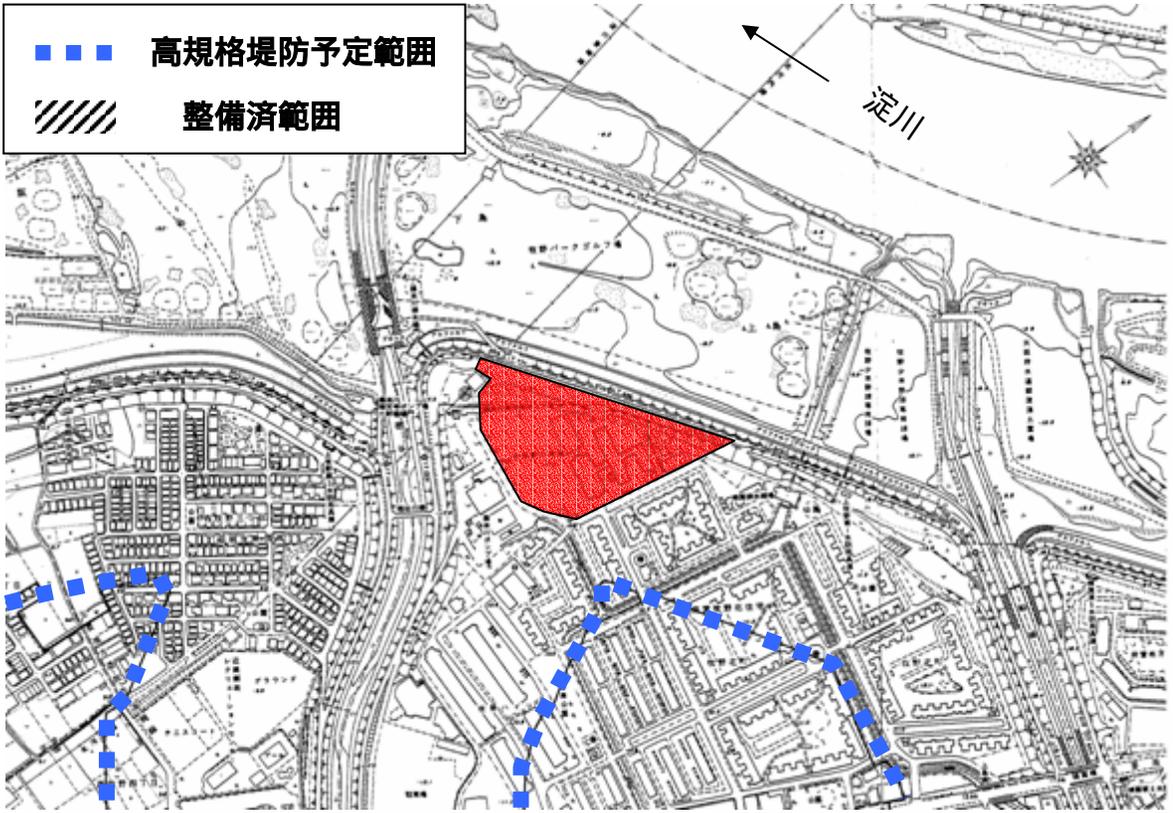
うち整備計画期間内の数量・諸元等
 盛土 8万m³

事業費

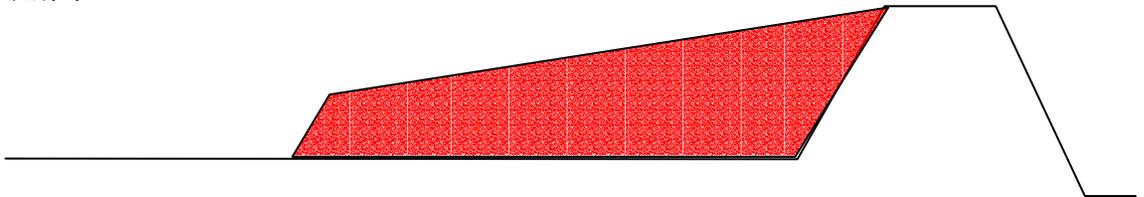
- ・全体事業費 約 12億円
- ・うち執行済 約 2億円
- ・うち整備計画期間内 約 10億円
- ・うち整備計画期間以降 0円



平面図



横断面図



整備効果

- ・当地区を整備することにより、破堤による壊滅的な洪水被害(下表と下図は当地区の上流100mの地点で破堤した場合の被害予測)を回避する。
- ・高規格堤防と市街地との一体整備によって、これまで高い堤防で隔てられていた市街地と河川に連続性を持たせ、良好な水辺空間を創出する。
- ・廃校跡地を整備することにより、良好な都市環境を創出する。

想定氾濫被害

(昭和28年台風13号型の2倍降雨)

破堤地点	淀川左岸31.2k
被害額	2,600億円
浸水面積	120ha
被災人口	9,000人
浸水家屋	3,000戸

浸水被害図



提案理由

廃校となった北牧野小学校跡地利用と高規格堤防を一体的に整備することについて、調整が図られたので、継続して実施する。

調整経緯

平成11年度 枚方市と調整を開始する。

平成12年度 北牧野小学校が廃校となる。地域住民協議会と跡地利用および高規格堤防整備について調整を開始する。

平成13年度 住民協議会から早期着工の要望を受ける。

平成14年度 住民協議会、枚方市と整備について合意を得る。事業に着手する。

平成15年度 事業中。